

失業反對闘争に關する件

東京聯合會提出

主 文

失業反對闘争は失業者大衆それ自身にとつての問題たるのみではなく、いはゆる産業豫備軍として全労働大衆への犠牲である。

我等は低賃銀、労働強化、時間延長等による資本主義的産業合理化に反對し、失業反對闘争を全国的に、統一的に、徹底的に闘ひ抜くものである。

理 由 (略)

實行方法

一、新任中央委員會に一任。

② 全國労働政治方針徹底化に關する件

東京聯合會提出

決 議

我等は全國労働組合同盟政治方針徹底化のために左の決議の實行を期す

一、全國労働所屬の各地方聯合會、組合は其の政治方針に従ひ、社會大衆黨を積極的に支持し、全面的政治闘争に協力すること

一、組合員をして各々の所屬に従ひ、黨の組織に参加し、黨内活動を通じて反戦、反ファツショ闘争を強化し、黨の階級性の防衛、昇揚のために努力すべきこと

一、日本労働組合會議の「健全なる労働組合主義」の名による政黨的中立の危険性を批判し、組合會議政治委員會をして黨活動との直接の連携をはかり、以つて組合會議の階級的任務の強化をはかること

一、黨農村委員會及び全國農民組合、其他の農民團體との提携をはかり、勞農提携強化促進のために努力すること

實行方法

一、新中央委員會に一任

③ 日本産業労働俱樂部粉碎闘争に關する件

東京聯合會提出

主 文

我等は日本主義労働運動の名の下に労働大衆を資本主義の鐵鎖に縛りつけやうとする反動ファツショ日本産業労働俱樂部の徹底的粉碎を期す。

理 由

一、日本産業労働俱樂部は主として關東地方に於ける從斷的、御用組合を統一して結成したるファツショ労働組合の聯合團體であり、日本労働組合會議に對して最も尖鋭なる對立を示してゐる。